

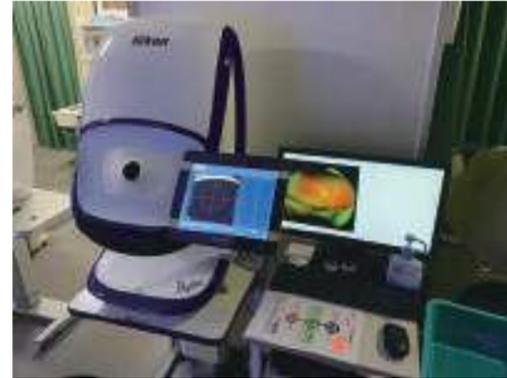
超広角眼底カメラ“デイトナ”導入



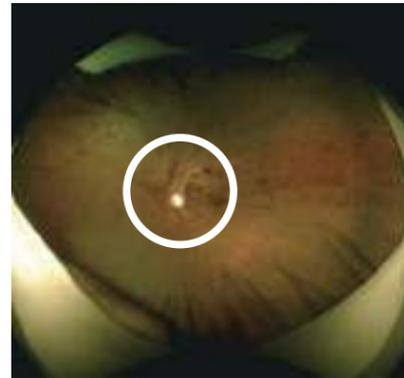
従来の眼底カメラでは、画角45度なので、網膜の中心部である黄斑部や視神経の周囲などしか撮影が出来ませんでした。一方、**超広角眼底カメラ**では、約4倍となる200度の画角で**眼底の80%以上が撮影できる**ため、全体像を把握することに有用で、眼底周辺部の疾患を早期発見することが出来ます。

通常、広範囲の写真を撮影する際には、何枚も撮影しなければいけないため時間がかかりましたが、超広角眼底カメラでは、散瞳剤（瞳孔を拡げる薬）を使用せずに撮影できるので、患者さんへの負担が少なくなりました。散瞳せずに撮影できますので、お車やバイクの方にも安心です。

但し、患者さんの目の状態によっては、散瞳して撮影する場合がありますのでご了承下さい。また、白内障のある方でも撮影が可能で、撮影時のまぶしさも少ないです。1回の撮影は0.4秒と短いため、小さなお子さんからご高齢の方まで大丈夫です。**当院では、昨年8月にデイトナを導入致しましたが、超広角の画像で解像度は大変高く、診断精度が向上しました。**



網膜静脈閉塞症
《従来の眼底カメラ》



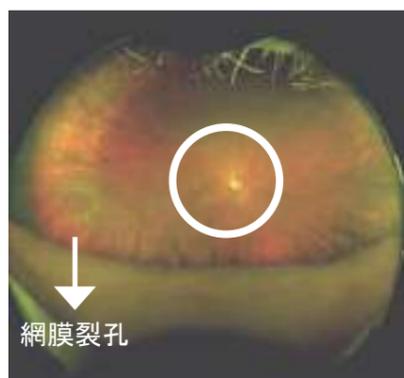
《超広角眼底カメラ》

▶ 白い丸の範囲は、従来の眼底カメラでの撮影範囲です

広角眼底カメラで見ると眼底出血がかなりの広範囲に及んでいるのがわかります。



網膜静脈閉塞症
《従来の眼底カメラ》



《超広角眼底カメラ》

▶ 白い丸の範囲は、従来の眼底カメラでの撮影範囲です

眼底周辺部に大きな網膜裂孔（裂け目）があるのがわかります。

親切・丁寧・笑顔がモットー

梶川眼科医院 情報誌 (年4回季刊発行)

瞳きらきら通信

TEL 078-732-0091 兵庫県神戸市須磨区前池町3-4-1

2020
春
vol.36



院長ごあいさつ

今年の目標のひとつに「小野ハーフマラソン完走」を掲げています。大好きな元阪神タイガース・赤星憲広さんの主催。僕の周りには、とんでもない素敵なチャレンジャーばかり。100日連続100Kmマラソン！！一週間分の食料や装備品など15Kgを背負い、250Kmを6日間で走るアドベンチャーマラソン！！本当に凄すぎます。

お腹ぽっこりメタボ体型まっしぐらの還暦オッサンも何かに挑戦したくなりました。まだ走れる体ではないので、年が明けてから週3回ルームランナーに乗って、時速5Kmで3Kmからまず歩き始めました。今月からやっと5Kmです(苦笑)。20年前、走破すれば47Kmという六甲全山縦走大会に出場しようと思い、練習中に座骨神経痛（腰痛と右足の痺れ）を患ってしまいました。そのトラウマがあるので、今回はゆっくり、じっくり、まず体づくりから。



院長 梶川大介



最近、週末には、須磨から明石海峡大橋までのウォーキングを楽しんでいます。何よりもマスクを着けていないのが、めっちゃ気持ちいいです。ええ汗かいて爽快。耳のお供は、大好きなシャカタクといきものがかり。新型コロナウイルスの影響で、何かにつけて閉塞感が漂う今日この頃。一日も早く終息するようお願いばかりです。てか、もう春ですね。

コラム数珠つなぎ



今回は、受付・杉山がお届けします！

我が家には、社会人と高校生の2人の娘がいます。私と娘2人がここ数年応援しているのが、EXILEのグループの1つでGENERATIONSというアーティストです。2019年も何回か3人でライブに行きました。

歌もパフォーマンスも最高で、2~3時間のライブですが、いつもあっという間に終わってしまいます。ファンの人達は若い方が多いですが、私と同じぐらいの世代の方も見かけますよ。フラッグを振ったり、タオルを回したり、時には叫んだりして(!)いつも大盛り上がりです。好きなグループのライブに行けて楽しいのはもちろんですが、娘2人と一緒に行けることが私にとっては最高の楽しみです。



医院を
良くするために

MMTGとは？

受付:河野



梶川眼科医院では、MMTG(マネジメントミーティング)という取り組みをしています。マネジメントミーティングは、院内で起きる課題などについて、職場内の風通しをよくするためにやっているミーティングです。年2回、半年ごとに、先生・各部署のリーダーと私といったメンバーでお昼休みを利用して行っています。

話し合うテーマは、半年ごとを反省しながら、看護師・診療・受付など、部署ごとに集まって、CS(患者様満足度)、ES(従業員満足度)はどのようにしたら上げることができるか、現在の職場で起こっている課題などについて、各リーダーを中心に話し合いをして検討し課題の整理を行います。

この検討し整理した課題をミーティングレポートやアクションレポートに記入して、これをもとに話し合いを進めていくといった流れです。

ミーティングする場所は、院長室。第1回目の時には、先生も含めメンバー全員がかなり緊張してカチコチになった中での話し合いになっていたのですが、重要なコミュニケーションの機会でもあり、大切にしていきたいと考えています。

先生は、お忙しいため、院内の細かい課題を把握することが難しいので、MMTGを開催することによって院内の部署間の問題点や様子について理解して頂くことができる絶好の機会だと思っています。

1回目のミーティングを終えて、2回目が始まったばかりですが、院長室の緊張をなくしながら、いつものように和気あいあいと前向きな話し合いの場として、充実した実のあるMMTGにしていきたいと考えています。



趣味イキイキ楽々！！



受付:西山



当院患者様であるK・Kさんに折り紙のお話しをお聞き致しました。

現在70代であり、小さな頃から折り紙が好きでお隣に住んでいた美容師のお姉さんから千代紙をもらったことがきっかけで始められたとのこと(^^)♪



現在はボランティア活動をされていて、色々な所で折り紙を教えられています。

最近では学校の先生からの依頼で、立体的に折り紙を使用し作成するにはどうすればいいのか考えてもらう!など創意工夫されていました。凄いです!!



絵日記の5月の所には鯉のぼりの折り紙を貼っていて7月には蝉やクワガタ・12月にはサンタクロースやポインセチア・クリスマスツリーにビーズ付きの折り紙を貼ってなど、とても工夫されて素敵でした。



ボランティア活動では明石市などに行かれ、子供さんたちにチューリップやサンタクロース・大人の方にはクリスマスリースの折り紙を教えられているとのこと。いくつもの作品を手掛けているK・Kさん凄いです!無限のアイデアを出されているお話しをお聞きすることが出来て感動致しました。

K・Kさんはいつも、優しく笑顔も絶えずイキイキとされていてとても素敵です(^_-)-☆

機会があれば一度教えていただきたいです♥